

水稲育苗用 高温対策フィルム

「新潟県農業総合研究所共同開発」

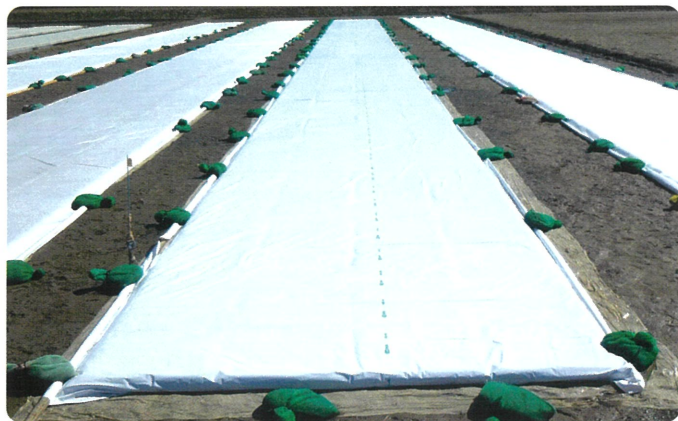
ト-カン

ほなみ

(ハウス内育苗)

水稲育苗では、播種から緑化までの間に被覆資材を用いて温度、湿度、光量を調整していますが、近年育苗期の高温による苗焼けやストレスに伴う生育障害が懸念されます。

ト-カンほなみは、高温晴天時の床土温度上昇を抑制するため、安全な健苗育苗に有効です。



(露地育苗)

■ト-カンほなみの特徴とメリット

- ① 苗焼けを起こす様な高温時でも苗焼けしにくい。
- ② 資材が熱くならないので不織布は不要です。
- ③ 適度に透光量があるので緑化までOK。加温出芽後の緑化にも最適です。
- ④ 耐久性があり、かさばらず、洗い易い。
- ⑤ 水分の蒸散が少なく、床土に適度な水分を保持します。

●標準規格

幅	長さ	巻姿
230cm, 270cm, 300cm	50m	ダブル折り(W)

■ トーカン ほなみ の使用方法

出芽器利用（ハウス育苗）

- ①出芽器で出芽後、置床を均一にした育苗ハウスへ移動
- ②育苗箱を平置きに並べて、**ほなみ**を直掛けする。
- ③育苗箱の床土は、播種時の灌水が十分であれば必要ないが部分的に乾燥する事もあるので管理に注意する。
- ④床土の温度が、35℃以上になる様な時はハウス換気をする。

出芽器利用（露地育苗）

- ①出芽器で出芽後、置床を均一にした露地へ移動する。
- ②育苗箱を平置きに並べて、**ほなみ**を直掛けする。
- ③育苗箱の床土は、播種時の灌水が十分であれば必要ないが部分的に乾燥する事もあるので管理に注意する。

■ ほなみ と シルバ・ラブ の比較

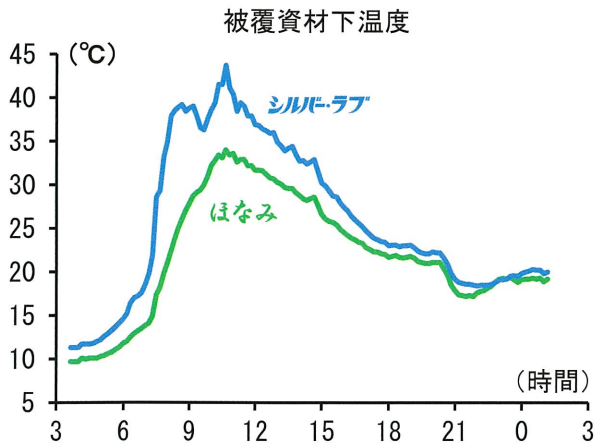


図. 露地育苗における被覆資材下温度の推移
最高気温29.8℃、最低気温10.9℃、平均気温20.4℃
日照時間6.8hr、日射量20.18MJ/m²、
(2016年5月3日、新潟県農業総合研究所)

■ トーカン ほなみ の注意点

- ①**ほなみ**は高温による苗焼け対策資材として開発致しました。早期米地区や中山間地では、低温時に生育が遅れる事があります。
- ②低温が予想される時は、**ほなみ**の上にフィルム等を二重掛けをして保温に努めて下さい。
フィルムは **水稲用シルバポリトウ**をお勧めします。
- ③保温を重視する際には **シルバ・ラブ**をご使用願います。
- ④温度の確認は、床土温で測定下さい。
- ⑤ハウス開閉管理は **シルバ・ラブ**使用時と基本的には同じですが **シルバ・ラブ**よりも高温時の換気が遅れても苗のダメージは格段に小さく抑えられます。

■ トーカン ほなみ の使用時期目安（新潟県）

4 月			5 月		
初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬
← シルバ・ラブ →					
	高温時にはハウス換気・外部遮光をする				
	← ほなみ →				
	低温時には保温に努める				
		高温時にはハウス換気をする			

※4月下旬以降の播種時は、**トーカンほなみ**の使用をお勧めします。

販売店



東罐興産株式会社

本社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-14 ユーデンビル
TEL 03-5472-5111(代) FAX 03-5472-5115
いわき工場 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀の尾85-12
北海道出張所・東北営業所・関東営業所・関西営業所・九州営業所



製品情報はここから

ほなみ 検索

<https://www.tokan.co.jp/tokankousan/>